

国語 科

・ 27年度の「改善プラン」の検証（取り組みにおける成果と課題）

第3学年は、27年度に国語への関心・意欲・態度と書く能力と言語についての知識・理解・技能に課題があり、特に書く能力には大きな課題があった。そのため、日頃から意見文などの自己の考えを文章で表現する機会を多く取り入れた授業を行ったことで、書く能力が目標値と同程度まで上がる成果が見られた。一方で、読む能力と言語についての知識・理解・技能については昨年度の結果を下回っており、課題と言える。このことから、まだまだ基礎基本の定着が図れていないと考えられる。

第2学年は、27年度に話す・聞く能力に特に課題が見られた。そのため、話す・聞く能力の向上に向けて、正確に聞き取れる力と正確に自分の考えを伝えられる力を重点に置いた授業を行ってきた。その結果、話す・聞く能力が目標値を上回る成果が見られた。一方で、言語についての知識・理解・技能については27年度に引き続き、目標値を下回っており、課題と言えるだろう。

・ 今回の調査結果

観 点	分 析	課 題
1 国語への関心・意欲・態度	1 学年は目標値を下回っている。 2 学年は目標値を上回っている。 3 学年は目標値を上回っている。	興味をもって学べる授業展開をしていく。また、基礎基本の定着を大切にし、分かる体験から意欲を高めていく。
2 話す・聞く能力	1 学年は目標値を下回っている。 2 学年は目標値を上回っている。 3 学年は目標値を上回っている。	スピーチや少人数での話し合い活動体験活動を多く取り入れる。
3 書く能力	1 学年は目標値を下回っている。 2 学年は目標値を同じ。 3 学年は目標値を同程度。	意見文や物語文などの書き方指導からはじめ、単元ごとに文章の作成・推敲に取り組み、表現力の向上を図る。
4 読む能力	1 学年は目標値を上回っている。 2 学年は目標値を上回っている。 3 学年は目標値を同程度。	引き続き、文脈に即した内容把握と文章の要旨を理解に重点を置き、読解力を身につけさせる。また、朝読書にも継続して取り組み、読書への関心を高めていく。
5 言語についての知識・理解・技能	1 学年は目標値を上回っている。 2 学年は目標値を下回っている。 3 学年は目標値を同程度。	学校統一漢字コンテストや漢字小テストを授業の中から継続して取り入れ、言葉の定着を図っていく。

・ 28年度の授業改善策

（第1学年）

読む能力と言語についての知識・理解・技能以外の3観点で目標値を下回っている。まずは基礎基本の定着に重点を置いて取り組んでいき、スモールステップで達成感を感じられるような授業を行っていく。また、ICT機器などを用いて生徒の興味を引きつけるような授業の工夫を行っていくことで、生徒の国語学習への意欲を高めていきたい。

（第2学年）

言語についての知識・理解・技能が目標値を下回っている。そこで、今後は学校統一漢字コンテスト、漢字小テスト、学年による漢字100問テストなどを実施していくことで、言語の定着を図っていききたい。また、語彙力の向上に向けて、読書活動の習慣化や国語辞典・漢和辞典の使用の増加を図っていききたい。

（第3学年）

5観点全てについて目標値を上回っている、もしくは同程度である。基礎基本の定着はおおむね図れているが、その応用に課題がある。そこで、今後は継続して基礎基本の定着に取り組むとともに、応用的な学習を授業に多く取り入れていきたい。